

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA WAGO 名古屋和合 WEEKLY 2760 地区 REPORT

Reach Within to Embrace Humanity

こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

2011-2012年度 国際ロータリー会長 カルヤン・パネルジ



2011-2012年度 会長 天野清美 幹事 端山佳誠 クラブ会報委員長 亀井敏勝

創立/1972年3月15日 例会日/水曜日 12:30~13:30

例会場/ウェスティンナゴヤキャッスル 名古屋市西区樋の口町3-19 〒451-8551

TEL 052-523-1998 FAX 052-531-0727

2011 November 16

■ 2011~2012年度方針

「学び、楽しみ、育てようロータリー」

NO.18

例会報告

●第1923回例会 平成23年11月16日(水) 晴

●11月はロータリー財団月間

●ロータリーソング 手に手つないで

●出席報告 会員 101 名中 出席66名
(93)
出席率70.97% 修正出席率85.87%
(11月2日分)

●ゲスト紹介

・ゲストスピーカー

名古屋大学教授 岩尾 聡士氏

●ニコボックス

「本日の卓話者、岩尾先生をご紹介させていただきます。皆さん、よろしくお願ひ致します。」

吉田正道君

「昨11月15日お陰様で88才(米寿)の誕生日を迎えました。」

長谷川通雄君

「急に寒くなりました。皆さん健康に注意して風邪などひかぬように、そしてロータリーに出席願ひます。」

端山佳誠幹事

「雌伏33年ロータリーの麻雀大会で初優勝しました。」

國分孝雄君

本日のニコボックス	4件	11,000円
累 計	123件	1,139,000円

・11月30日(水) 例会終了後、クラブアッセンブリーを開催致します。理事・役員・各委員長のご出席をお願い致します。委員長のご都合が悪い場合は代理の方のご出席をお願い致します。

クラブアッセンブリー終了後、理事会を行います。

・12月7日(水) 年末会員家族懇親会。
受付は17時、開会は17時30分、閉会は20時20分頃を予定しております、会場はウェスティンナゴヤキャッスルです。
皆様方のご参加をお待ちしております。

・11月19日(土) 地区大会の出席義務者は会長、幹事、地区委員のみの出席です。

・11月20日(日) 地区大会第2日目。
12時開会、ウェスティンナゴヤキャッスル、友愛の広場にて昼食(10時45分~11時45分)
出席義務者(理事、役員、各委員長、新入会員及び地区委員)。両日共、駐車場の数に限りがございますので、公共交通機関及びシャトルバスをご利用下さいますようお願い申し上げます。

小南速雄副会長挨拶

趣味として釣りの外に、川、魚、とか釣りと書いてある本を集める事がもう一つあり、自分の部屋が釣り関係の本で一杯になり、常に地震が来たら本に埋って死ぬと家で云われています。

端山幹事報告

▽当クラブ行事予定

・11月23日(水) 祝日のため休会です

それも本望かなと思ってます。
そんな本の中の一冊の小説のでだしの4行を読ま
させて頂きます。

又、釣りの季節に入った。
魚が釣れるようになると、私は釣り以外の事を考
えたり、したりするのが嫌になってしまう、と云う
救うべからざる悪癖がある。
「何故俺はこんなに釣りに夢中になるんだろう」と、
私は考えるのである。が、原因が分からないのである。

作者は葉山嘉樹、題名は何と「首、魚、どっちを
つか」有名な超短編で釣り関係の文集には必ず載っ
ています。

早稲田大学中退でプロレタリア系の作家で戦争中
は今の中津川市落合に疎開していて、釣りに熱中し
ていたようです。

釣りに夢中になると、思考力低下というより白痴
になると云います。

でも、そんな釣りにも良い事があり五徳と云われ
ています。

- ①健康を与える
- ②忍耐を与える
- ③寛恕を学ばせる
- ④品性を高尚にする
- ⑤快樂を与える

こんな徳もあります。
もう一つは女性に狂うと同じ白痴状態になると云
います。当クラブにも何人か違う釣りをする人がお
見えかと思いますが、道具だても、エサも違いますが
適度に健康に気を付けて楽しんでください。

卓 話

超高齢社会における街づくり

国立大学法人
名古屋大学大学院経済学研究科 教授
医師・医学博士・経営管理学修士 岩 尾 聡 士



略歴
1992年 名古屋大学医学部卒
業、同大学にて医師
免許、博士号取得、
国立長寿医療研究セ
ンター勤務、日本学術
振興会海外特別研究
員等、アメリカ国立老
化研究所にて勤務

2001年 愛知医科大学衛生学、加齢医学研究所講師
2007年 中京大学にてMBA取得
2008年 愛知医療学院短期大学リハビリテーショ
ン学科教授
2009年 現職

現職
専 門：医療経済、老年学、疫学
社会活動：アマチュアボクシング全日本実業団第5
位・全日本社会人選手権3位（1995年）
日本オリンピック委員会強化スタッフ、
日本医師会認定スポーツドクター、日本
体育協会認定スポーツドクター、OVT
Aメンタルアドバイザー他

我が国は、急速な少子高齢化が進み、超高齢社会
の到来が叫ばれています。

その結果、医療面・介護面での無理が顕在化して
きました。医療崩壊を回避し、高齢のみならず国民
全員が安心して生活していける社会・街をつくるた
めにどのように環境を整えていけばよいでしょうか。

今日のシステムでは、慢性期の患者さんが安心し
て長期に渡り入院を継続することが難しくなってき
ました。平均在院日数の短縮が多く医療機関にお
いて大命題となり、退院後の受け皿となるべき施設
の著しい不足がクローズアップされています。こう
いう人々は医療難民・介護難民と言われ、これらの
人々が安心して在宅で暮らすための病院との橋渡し
になる中間施設の必要性が叫ばれています。

自宅介護が難しいとみられる高齢者の方々でも、
医療・介護従事者の不足、ベッド数の不足などから
迅速な入居は不可能なのが現状です。そのため専門
知識のない家族による介護や老々介護など、ご本人
やご家族の方に体力・精神両面での大きな負担を強
いることとなります。医療・介護の現場・高齢者・
家族・国。全てに無理のない調和の取れたコミュニ
ティをつくっていくことが今後の街づくりの課題で
あると考えています。

例会	月日	今後の予定
第1924回	11.30	40周年卓話 富島照男1997～98年度会長 40周年実行委員長
第1925回	12.7	年末会員家族懇親会 17:30～ウェスティンナゴヤキャッスル
第1926回	12.14	ホシザキ電気(株) 代表取締役会長 坂本精志氏(名古屋名東RC会員) 「米山奨学生への想い」

○このウイクリーは再生紙を使用しております。